

## 委員会の動き

### 遊休財産に関する調査

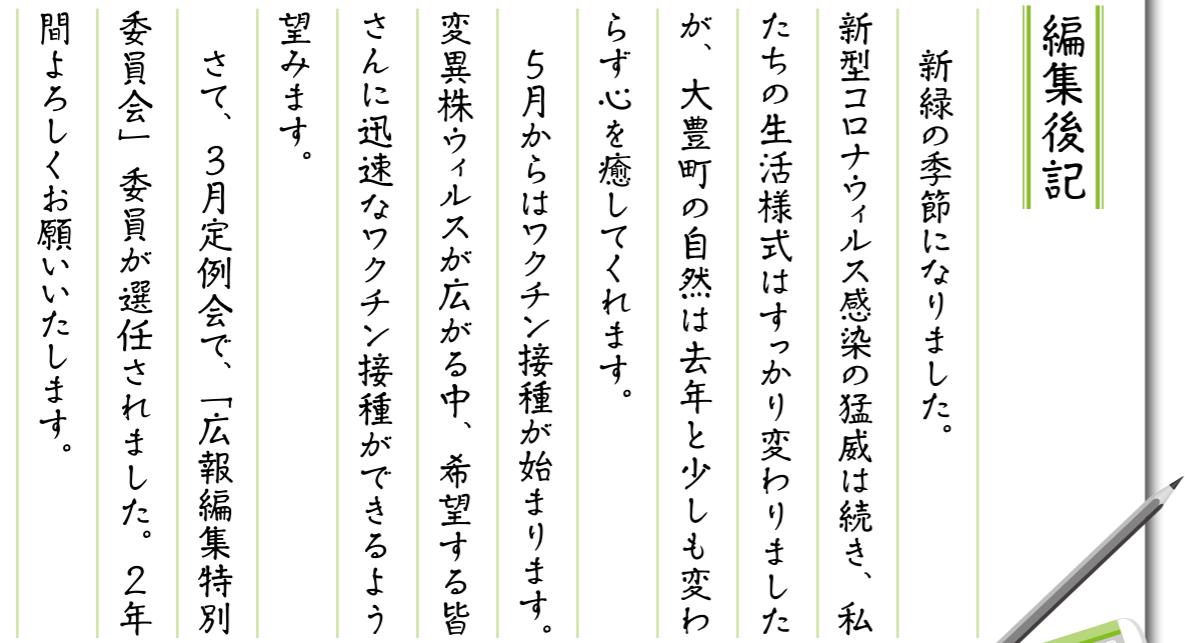
東京オリンピックで新種目に採用された自転車BMX（バイクモトクロス）人気が高知県に広がってきてている。自転車競技として、オートバイモトクロス競技にあこがれた少年、子どもたちが自転車で真似し始めたのが始まりである。昨年秋に高知市五台山の東部総合運動場近くに新しく練習場ができ、その整備に尽力された、高知BMX協会さんに説明していくだき、練習場及び練習の様子を視察した。

練習場は、縦65m、横20m、高さ2mほどのジャンプ台など12基のジャンプ台が並びヘルメット姿の小学生のちびっこライダーが、続々と、そのジャンプ台から楽しそうに飛んで練習を行っていた。BMXは、5、6才から、大人まで参加できるスポーツで自転車操作による基礎体力及びバランス感覚をみがき、幅広い層が楽しめるスポーツである。子どもたちも明るく、楽しそうであり、大人も子どもも夢中になる素晴らしいスポーツだと感じた。

このスポーツは、高知県でも力を入れており、本町においても、町内での自然体験として、スポーツレジャー競技として、イベントを計画することにより、観光で入り込み客増加が期待でき、町有財産、遊休施設の利活用として、廃校となった学校施設、校庭、体育館等での計画を望む。



自転車BMX 視察



三谷よし恵

さて、3月定例会で、「広報編集特別委員会」委員が選任されました。2年間よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染の猛威は続き、私たちの生活様式はすっかり変わりました。が、大豊町の自然は去年と少しも変わらず心を癒してくれます。5月からはワクチン接種が始まります。変異株ウイルスが広がる中、希望する皆さんに迅速なワクチン接種ができるよう望みます。

▼上池如夫議員  
4月1日から試行運行のゆずバス対策に向けて、福祉タクシー、乗合タクシー等の政策提言をしてほしい。

▼大石雅夫町長  
昼間通院等により、交通手段を必要とのご要望がありますので、試行運行手段を増やすことにしたい。内容について、西峰線は、火曜日及び金曜日の昼便を臨時便として運行。また、立川線は、火曜日及び木曜日の昼便を臨時便として運行したい。なお、この臨時便是、運行事業の開始である4月1日を予定している。運行ダイヤ等につきましては、ゆとりすと広報誌4月号及びゆとりすと放送等を使って住民の皆さんお知らせしたい。

なお、公共交通の見直しは、令和3年度に試行運転を行いながら、4年度の完全施行に向け、事務局で更なる検討を重ねるとともに、再度大豊町公共交通検討委員会へ諮問したい。



## 意見書

### 選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書

可決（賛成者5・反対者4 反対者 佐々木 佐藤 上池 西村）

教育民生常任委員長 小川智也

近年、女性の就業者数が増加し、結婚後も仕事を続ける女性が大半となっている。日本の民法（第750条）では、結婚にあたって、夫婦いずれかの姓を名乗ることとしているが、実際には、女性の約96%が結婚に伴い姓を変更している。結婚前の姓を引き続き使えないことが結婚後の生活の支障になっているとの声もある。これは日本国憲法が保障する基本的人権の法の下の平等に反している。

国際社会において、夫婦が同じ姓を名乗ることを法律で義務付けている国は、日本以外には見当たらない。女性差別撤廃委員会の総括所見においては、平成15年以降、繰り返し現行の制度について懸念が表明されている。こうした国際的な視点を踏まえた制度導入が必要である。

家族形態の変化や生活様式の多様化も進む中、国民の意識の動向にも変化が見られる。内閣府の2017年の世論調査では、選択的夫婦別姓制度導入に伴う民法改正に賛成が反対を上回っている。60歳未満の成人男女7千人を対象にした民間調査でも、制度に理解を示す人は7割に達している。

国民の間には、家制度への考え方や家族観による意見の違いはある。しかし、選択的夫婦別姓制度は夫婦同姓を選ぶ人の権利も保障している。国民それぞれの思いを叶える選択肢が必要である。

よって、国および政府におかれでは、民法を改正し、選択的夫婦別姓制度を導入することを求め、意見書を提出する。

## 問14 答

大豊町通学バスの住民利用について  
高齢者利用のあるバスを無くすのは町民主体の政策ではない

西峰線及び立川線について昼間の臨時便を運行する